

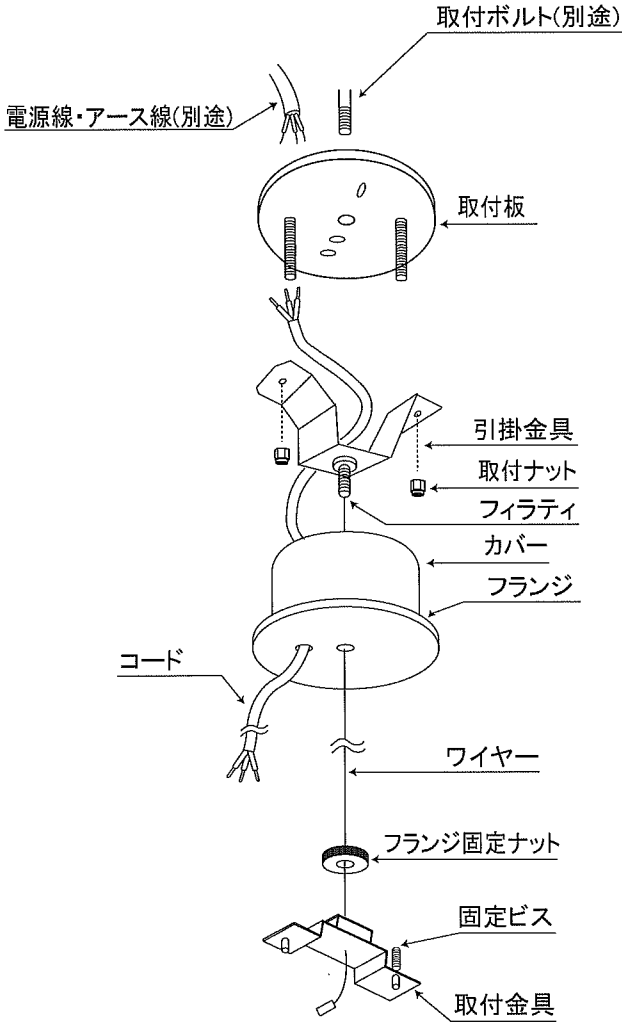
# [型番] RK-528S, RK-529S, RK-530S, RK-531S

## ◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です。

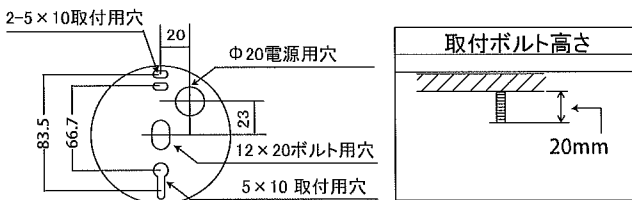
■ RK-528S, RK-530S (給電付)

■ RK-529S, RK-531S (給電無)



## ◆取付寸法

詳細については仕様図を参照してください。



## ◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカーを遮断してください。

⚠ 感電の原因となります。

2. 電源用穴に電源線・アース線(別途)を引き込み、取付ボルトに取付板を平座金と六角ナットで取付けてください。

吊具の取付ピッチは灯体の取扱説明書を参照してください。

⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。

3. 引掛金具を取付ナットでしっかりと固定してください。

4. 電源線とコードを結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。接続容量は灯体の取扱説明書を参考してください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火事・感電となります。

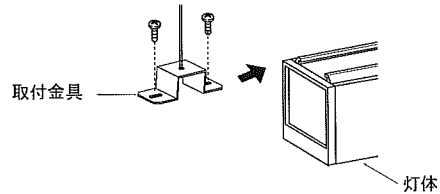
5. フランジをフランジ固定ナットで固定してください。

6. 灯体へ取付してください。

■ RK-530S, RK-531Sの場合

取付金具を灯体に差込み、固定ビスで固定してください。

ビスを締めすぎると金具が変形する場合がありますので、金具が固定できたところで締付けをおやめください。



⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。

■ RK-528S, RK-529Sの場合

灯体の吊金具にワイヤーの先端を引っ掛け、その後ビスでしっかり固定してください。

ビスを締めすぎると金具が変形する場合がありますので、金具が固定できたところで締付けをおやめください。

詳しい取付方法は灯体の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。

7. コードを灯体の口出し線に接続してください。

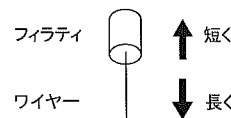
接続方法は灯体の取扱説明書を参考してください。

8. 吊り下げ長さを調整してください。

● 引掛金具についているフィラティで調整してください。

● 短くする場合：ワイヤーをそのまま押し込みます。

● 長くする場合：フィラティを押すとワイヤーを引き出せます。



■ 清掃方法について

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

● 中性洗剤をうすめ布に付け、よく絞ってから器具を拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。

● シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

● 電源工事が必要な場合は、電気工事に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。